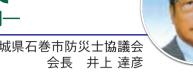


# 行政だけに頼らない 市民防災をめざして

防災士が果たすべき役割―



宮城県石巻市防災士協議会

令和元年5月、地域在住の防災士有志で 結成したボランティア団体です。個人の力 は小さくとも、団体として活動することに より活動の量も質も高められると考え、該 当者に2度のアンケート調査を実施し、防 災士資格取得後の活動状況や今後の展望な どを把握し、同じ思いの仲間に支えられ3 年の歳月をかけ結成しました。宮城県の市 町村単位では初の防災士組織であり、現在 の会員数130名です。

全員が大震災の実体験を有していること から防災への意識関心は高く、行政と市民 との橋渡し役を自負し、市民自らの手で行 動することに誇りを持っています。

東日本大震災では最大被災地となった石 巻市ですが、二度と人的被害を繰り返さな いためにも、市民自らが日常生活の中で防 災・減災の意識を高く持ち、備えることの 重要性を常に働きかけることが大切と考 え、当協議会では5本の柱を活動の中心に 据えています。

# 1 市民の防災意識向上

街頭啓発活動や各種イベントでのブース 展示等を通して、各行政機関や日本公衆電 話会等と連携し、情報の提供や体験の機会 を年5~6回行っている。また、4年前か ら地元FMラジオ局と連携し、毎月1回 「みんなの防災サロン」という番組を共同 制作し、会員が交代で石巻市防災士協議会 の取り組みや各自の得意分野・被災経験か

らのアドバイス等を放送しています。

さらに当協議会のホームページを開設 し、日々の活動を「防災士ブログ」として 情報発信しています。

### 2 石巻市教育委員会との連携

全ての児童生徒が東日本大震災以後の世 代になり、益々防災教育が重要度を増すと 考え、石巻市教育委員会と連携し小中学校 での防災訓練や避難所開設訓練、防災教室 等を開催し、児童生徒への防災教育と震災 伝承に力を入れており、年々実施校が増え ています。

# 3 各種団体との連携

放課後子供クラブや子供食堂等を展開す るNPOと連携し、防災訓練や防災展示な どを行っています。地域の町内会や老人団 体、手話の会、ベビーサークルなどでの活 動も行っています。

今年は日本カーシェアリング協会と連携 した防災活動を模索中です。

### 地元の防災・震災伝承団体 **4** との連携

それぞれの団体ごとに活動しています が、年1回「石巻防災・震災伝承のつど い」と題し、石巻地区で活動する多くの団 体が協力してイベントを開催しています。 これまで3回開催し、毎年約600名の来場 者を得ています。企画から運営まで自分た ちで行っており参加団体の規模では他に類 を見ないと思います。

地元FM ラジオ局の放送やユーチューブ でもその模様は公開しています。

前回は31団体が参加し、今年度は34団体 を想定しています。

### 5 会員のスキルアップ

年1回の会員向け防災訓練や防災セミナー、普通救命講習、年2回の女性防災士のつどいを定期開催し、会員自身のスキルアップに努めています。

災害時対応訓練 (DIG)・避難所開設訓練・避難所運営訓練 (HGU)・ロープワー

ク訓練・パッククッキングなど多岐に渡る 訓練も実施しています。

セミナーでは学識経験者の講演を始め、 気象情報や地形から読み解くハザードマッ プの活用法など常にブラッシュアップでき るよう機会を設けています。

令和元年の設立時は知名度ゼロ、活動実 績ゼロに加え新型コロナの流行で自粛ムー ドと厳しい船出となりましたが、役員を中 心にコツコツと活動を積み重ね、現在は行 政機関や各種団体との連携も増え、会員の 参加も積極的になってきました。



地域住民との避難所開設訓練



小学校での防災授業…東日本大震災の教訓



災害時用トイレ凝固実験



石巻市・防災フェアーでの災害伝言ダイヤル171体験